2026 年 8 月　ver.1

研究課題名	肝細胞癌における分子学的特性に基づく予後層別化因子の探索
研究の意義・目的	慢性肝疾患を背景に発症した肝細胞癌の手術時に採取・保存された組織を用いて、多くの遺伝子や分子の特徴を調べます。これにより、肝細胞癌の発症や再発、病気の進行に関わる要因を明らかにし、将来的には患者さん一人ひとりの病状や予後をより正確に予測し、適切な診断や治療につなげることを目的としています。 本研究では、H.U.フロンティア株式会社に C 型肝炎に関する検査を依頼します。
研究を行う期間	機関の長の実施許可日 ～　2030 年 3 月
研究協力をお願いしたい方（対象者）	2007 年 1 月～2021 年 7 月に、大阪公立大学医学部附属病院において、肝細胞癌に対して手術を受けられ、手術時に採取・保存された組織および診療情報を有する患者さんを対象としています。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた肝組織の一部及び下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報：【年齢、性別、身長、体重、生活歴、肝疾患・その他の病歴、既往歴・併存疾患、内服薬、血液検査データ、画像所見、腫瘍の状態、病理診断、治療内容、再発・生存状況等の予後情報】 肝組織：手術時に診療のために採取された肝組織のうち、保存されている組織
試料・情報を利用する者の範囲および管理について責任を有する者の研究機関の名称	この研究は、公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院医学研究科　病態生理学、肝胆膵外科学で行います。 【研究責任者】津田　真穂 【委託先】H.U.フロンティア株式会社
個人情報の取り扱い	この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータや肝臓組織は、すぐには個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されます。 この研究から得られた結果が、学会や医学雑誌などで公表されることはあります。このような場合にも、あなたのお名前など個人情報に関することは含まない形で公表されます。
本研究の利益相反	本研究の利害関係については、各研究機関で定められた利益相反マネジメントの規定等に従って必要に応じて各研究機関の利益相反マネジメント委員会へ報告を行うことにより、利益相反を管理し研究を遂行します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも不利益を受けることはありません。
連絡先	大阪公立大学大学院医学研究科　病態生理学 担当者氏名：津田　真穂 電話番号：（06）6645-3711